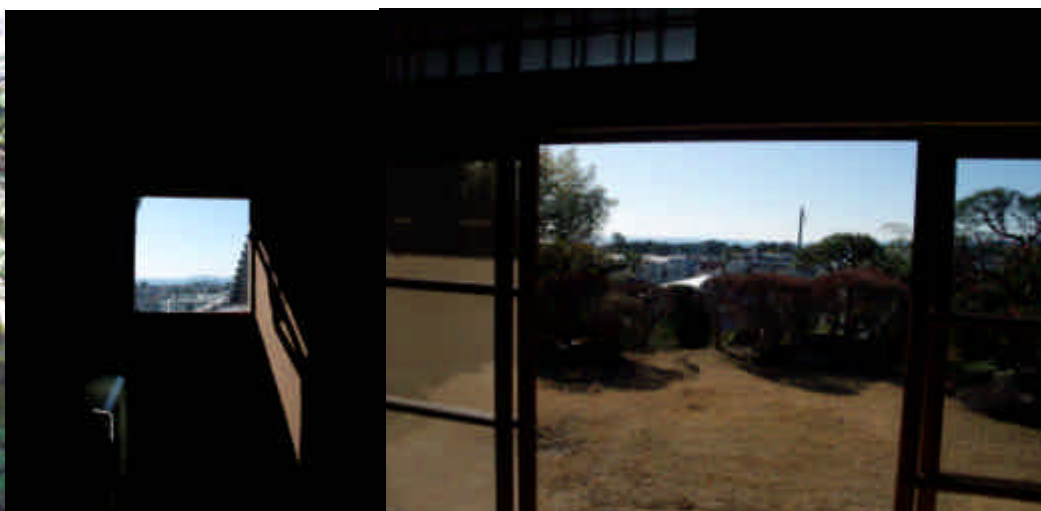


## 清閑亭心地よいプロジェクト

平井太郎







**清閑亭は箱根からつづく峰の尖端**

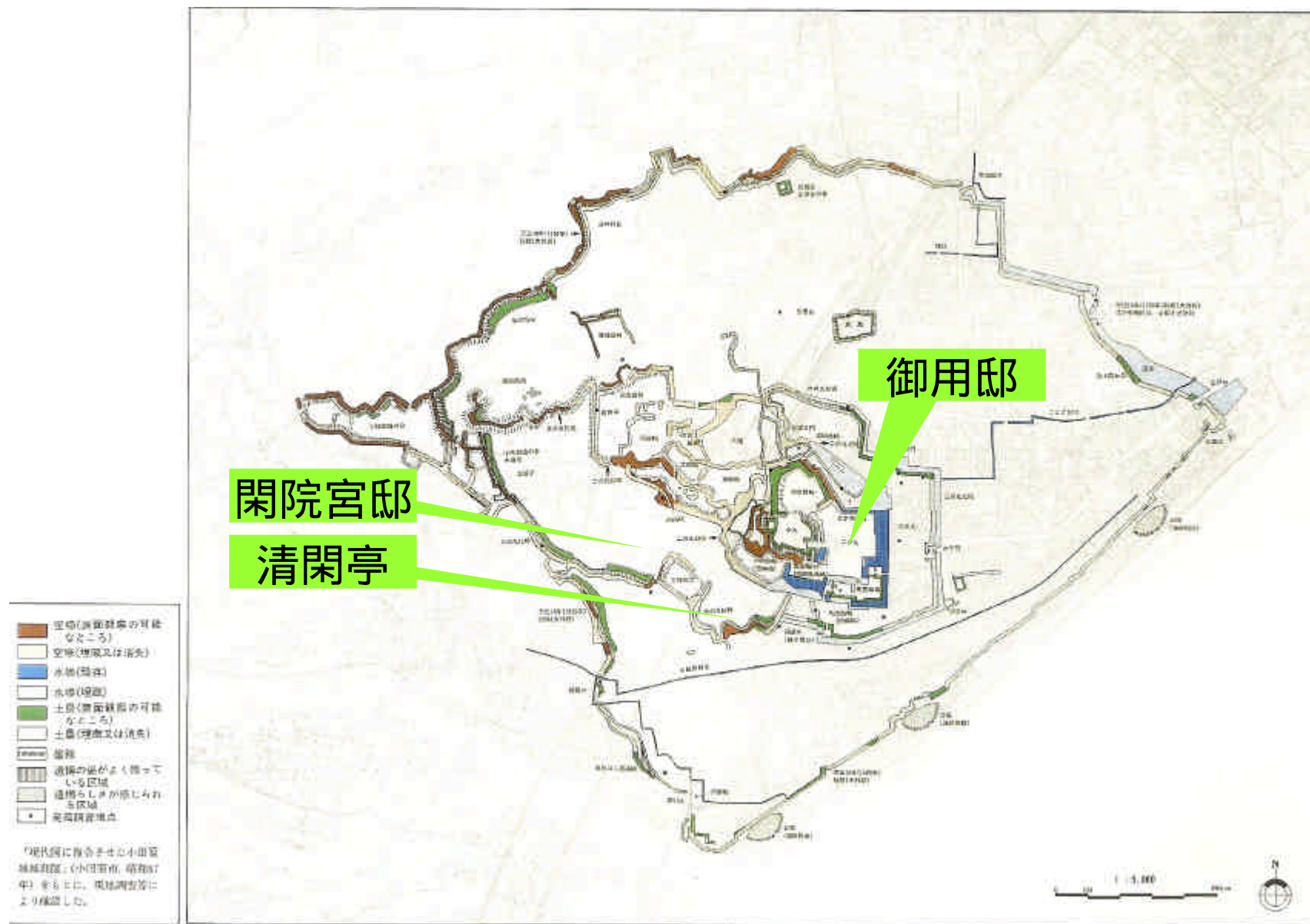
閑院宮載仁親王殿下にも、小田原の風光を賞でられ、大正四年、十字街の後丘、城西天神山の地に御別邸を建てられ

風光の明眉な、気候の温暖な、温泉の豊富な足柄下郡が、明治・大正の時代になつて、保養地若しくは観光地として発達した事は当然である。殊に前記 明治天皇の小田原行幸、宮下御避暑が、さうした機運を醸成する上に力があつたことゝ思はれる。(略)さらでも観光地・遊覧地の資格は十分に備つてゐたのだから、かくの如く皇族方が屢々御来郡されたのだから、当郡はその光榮に浴した上に、普く天下に保養地として宣伝されて行つた。『足柄下郡史』

板橋丘陵は、高燥地でありながら 早川の水を堰いで作った清冽な荻窪水道が流れ、空気澄み、気候暖かく、風景絶佳のところであるから、恰も古稀庵の衛星の如く、その周辺に名士の別荘が次々と営まれて行つたのである。滄浪閣のあつた海岸地とその後方の屋敷町を含めての十字町方面と、並びに板橋丘陵は小田原の最も良い健康地であると言われていて、この両地域には、大正の初期、政治家、軍人、実業家、文人等の大小の別荘が軒をつらね、小田原は休養地としての最盛期に入つたのである。

『小田原市史料』







## 清閑亭は小田原で一番心地のよい場所

もっと  
知ろう

清閑亭の心地よさの秘密は？

- ・誰が使っていたんだろう？
- ・どんなことをしていたんだろう？

もっと  
味わおう

清閑亭の心地よさを味わってみたい。

- ・食べもの 飲みもの
- ・眺める 歩く

守り  
伝えよう

清閑亭の心地よさを未来に伝えたい。

- ・建物や庭は日々の手入れや掃除が大切

清閑亭心地よいプロジェクト(仮)

## 清閑亭・心地よいプロジェクト(仮)

もっと  
知ろう

生活や建物・庭園にかんする専門的な調査

【サテライト・キャンパス】ゼミによる調査や提案

【中学生邸園文化探偵団】  
子ども若者によるお年寄りなどへの聞き取り

【セピア色の写真・道具展】  
古い写真や道具などを囲んだ思い出語り

もっと知ろう  
清閑亭車座

## 清閑亭・心地よいプロジェクト

もっと  
味わおう

### 【かふえ・園遊会】

清閑亭で味わわれていただく  
食べものや飲みもの  
眺めを実感するイベント

### 【まちあるき・ツアー】

清閑亭をはじめとする邸園をめぐるツアー

もっと味わおう  
清閑亭体験WS

## 清閑亭・心地よいプロジェクト

守り  
伝えよう

### 【お掃除大会】

清閑亭のすみずみまでみんなでお掃除

### 【和のお掃除体験 教育旅行プログラム】

床の拭き掃除・たたみぼうき・庭の落ち葉掃き  
今では貴重になった体験を子どもたちに

守り伝えよう  
清閑亭再生WS

## 清閑亭心地よいプロジェクト群 (例)

もっと 知ろう	調査 報告	講演 会	ゼミ 報告	探偵団 報告	写真展 道具展
------------	----------	---------	----------	-----------	------------

もっと 味わおう	園遊 会	まち あるき	
-------------	---------	-----------	--

守り 伝えよう	掃除 大会	掃除 体験	
------------	----------	----------	--

# 清閑亭心地よいカレンダー (例)

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

もっと 知ろう	講演 会	木 造 F	調査ゼ 報告報	探偵 報告報	罅 報告報	真展 道具展
------------	---------	-------------	------------	-----------	----------	-----------

もっと 味わおう	まち 検	か ふ え	J C 大 会	まち 検	か ふ え	グ ル メ T か ふ え
-------------	---------	-------------	------------------	---------	-------------	---------------------------------

守り 伝えよう	掃除 大会	掃除 体験				
------------	----------	----------	--	--	--	--



# 清閑亭 生活調査の例 生活・ライフスタイル

例せば鯛の刺身、小鯛の生干、鮎の子をまぶした酢のもの、小さな鱒、海鰻の照焼などが常に食膳に上つた。菜食の中で、大根の煮付が最も公の嗜好に適したのものとして知られてゐた。(略)公は好んで筍を喫した。筍のある間は、毎日必ず筍が食膳に上つてゐた。左右のものが、筍がいくら好きでも、善く飽きずに召し上る」と感ずる程で、好むものは、何時迄も善く喫した。

山縣有朋

## 地場旬を味わう

ビタミン百%の大根葉を味噌漬につまみ入れられたる、半搗米の淡雅なる味真と共に十分おいしく頂戴しているうち、小田原柏又の上等鰻まで頂戴したのは万緑叢中一点紅とや申すべきか  
懐石の向付に春先の木芽および野草の若芽を摘みて食せられるるは、恐らく古今の茶人中翁をもって第一とすべき  
小笠原沖の初鰹を青葉に時鳥いまだ来鳴かぬ四月初旬に大盤台に載せて出される御馳走  
遠き湘南の海には烟帆眠れるが如く昨日までの雨もようやく晴れてまさに小田原日和

益田孝

雨でない日は古稀庵の坂を上って天神山に出る。この辺は昔小田原城の内濠のあったあたりで、老松、古楠が数百年の古木を誇りたげに鬱蒼としている。相模湾はうららかに、箱根双子や石垣山の蜜柑園は大きく展開してみえる。

1959年

松永安左エ門

黒田侯爵

## のんびり散歩

秋山真之

日々の散歩にすこし歩き疲れ本日は小田原の別野に休息し読書三昧に日を暮らし候(略)新聞も見ずに世外に遠かりて呑気に静養せば是程気楽で面白き事は無之どうか何時までも此の様にと思ひ居り候  
大正6年7月26日

山下第三郎邸  
秋山真之終焉の地

野崎廣太郎

田中光範邸